

平成29年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査の結果の公表

本校では平成29年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査の結果を公表いたします。

教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。

また、保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、学校教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思います。児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、6年生は全国学力・学習状況調査、5年生は佐賀県学習状況調査の結果です。
全国学力・学習状況調査は国語、算数共にA問題、B問題という2種類の調査で成り立っています。おおむねA問題は「知識」に関する問題、B問題は「活用」に関する問題です。

結果を受けての本校の分析と改善に向けた具体的な取組を掲載しておりますので、ご覧ください。

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

■現小学5年生

佐賀県学習状況調査結果（平成29年4月18日実施）

小学5年生 正答率		
	国語	算数
本校	70.1(1.14)	73.8(1.13)
佐賀県平均	61.5	65.4

※（ ）内の数値は、県平均を1としての比較です。

■現小学6年生

佐賀県学習状況調査結果（平成28年4月19日実施）

現小学6年生の5年生時 正答率		
	国語	算数
本校	68.3(1.03)	66.6(0.99)
佐賀県平均	66.1	67.1

※（ ）内の数値は、県平均を1としての比較です。

全国学力・学習状況調査結果（平成29年4月18日実施）

小学6年生 正答率				
	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	77(1.03)	53(0.92)	80(1.02)	52(1.13)
県比	1.03	0.95	1	1.18
佐賀県平均	75	56	80	44
全国平均	74.8	57.5	78.6	45.9

※（ ）内の数値は、全国平均を1としての比較です。

県比の数値は、県平均を1としての比較です。

上記の結果は、4月19日に実施された、佐賀県学習状況調査と全国学力・学習状況調査の結果です。

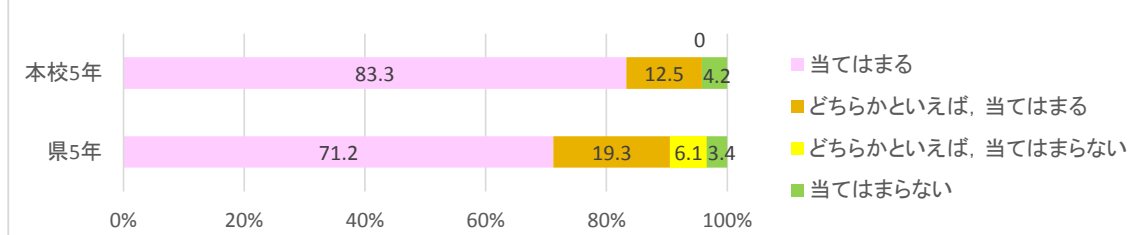
5年生は、国語・算数とも、県平均を大きく上回るよい結果となりました。

6年生は、国語Bは、全国平均を下回っていますが、国語A・算数A・算数Bは、全国平均を上回るよい結果となりました。

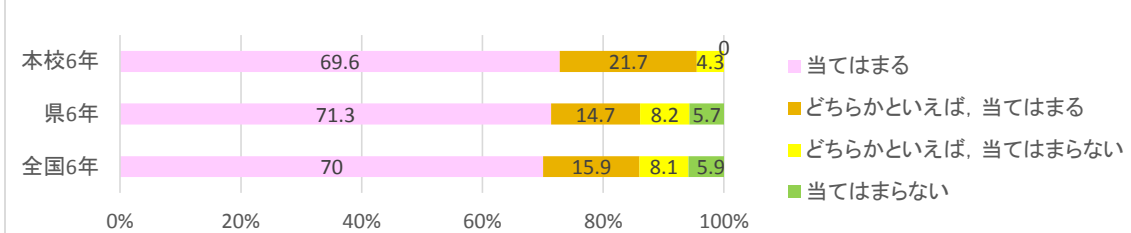
本校では、この結果と児童の学力の実態を、意識調査の結果とクロスさせたりしながらさらに分析し、課題改善のために、授業づくりや指導方法の改善・充実に向け新たな方策を検討し実践を進めてまいります。

学校における学習と生活について

将来の夢や目標を持っている

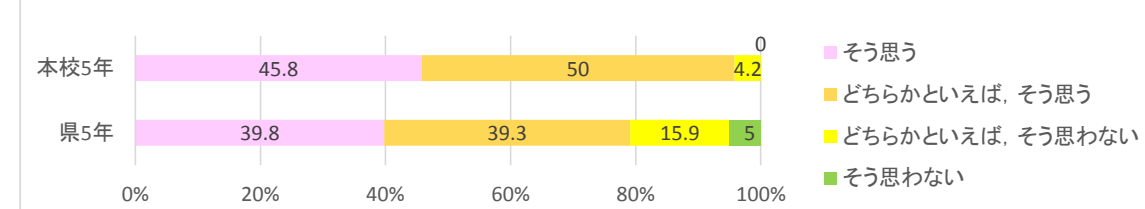


将来の夢や目標を持っていますか

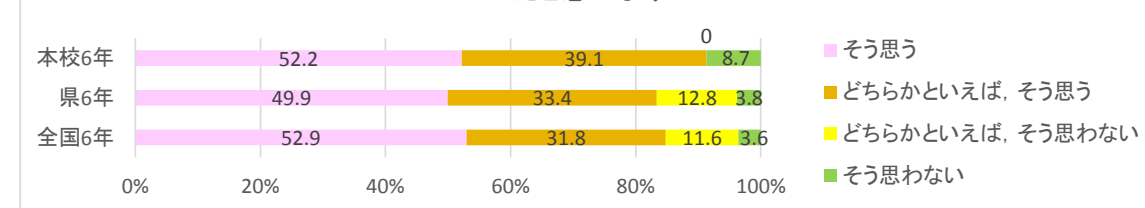


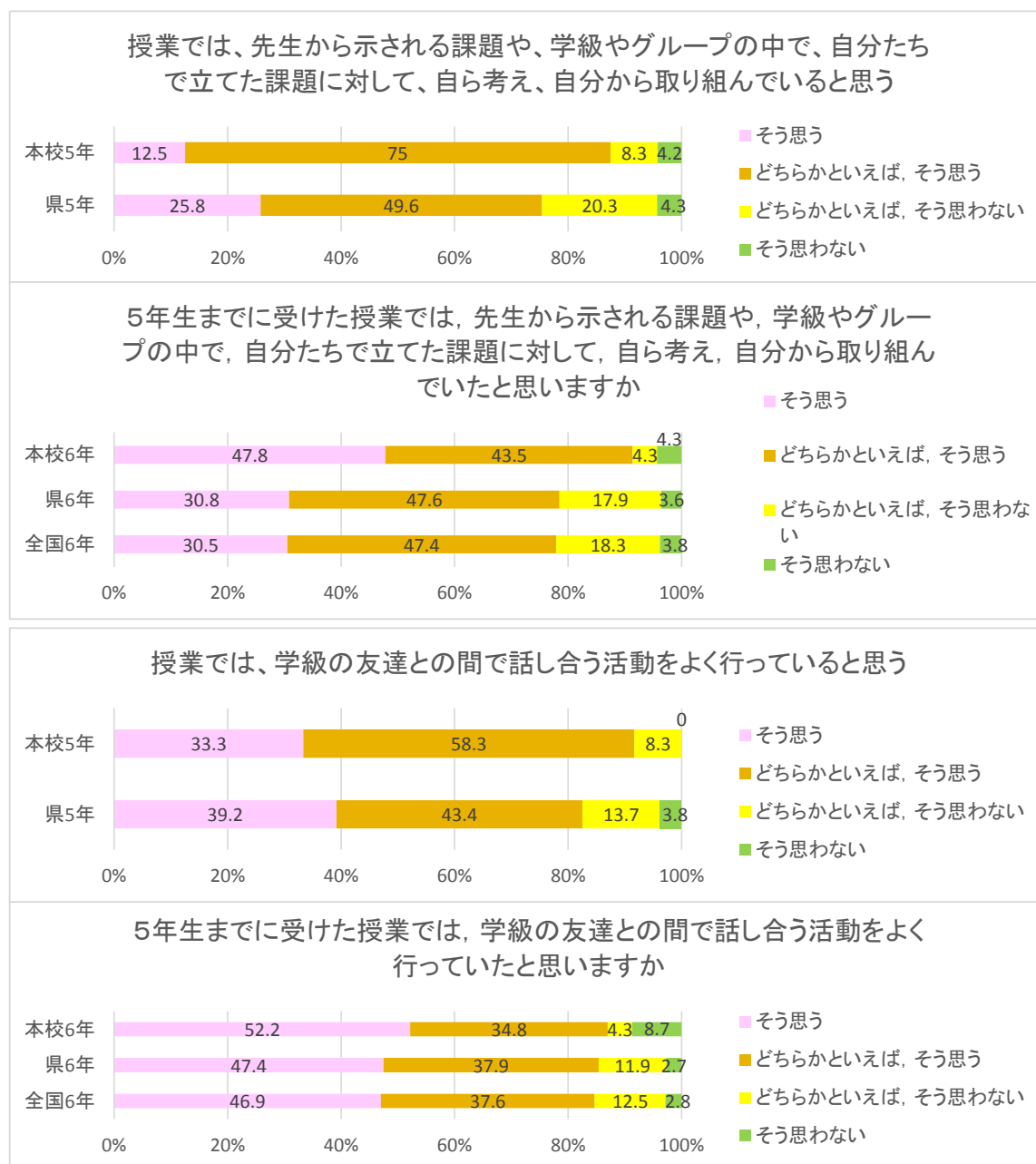
本校の児童は、5・6年ともに、ほぼ9割以上の児童が、将来の夢や目標をもっていると答えています。将来を見据え、学校生活を前向きにおくっている児童が多いことをうれしく思います。今年度も引き続き、子どもたち全員が、将来の夢や目標をもち、学校生活を楽しく有意義に過ごせるように、取り組んでいきます。

授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う



5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

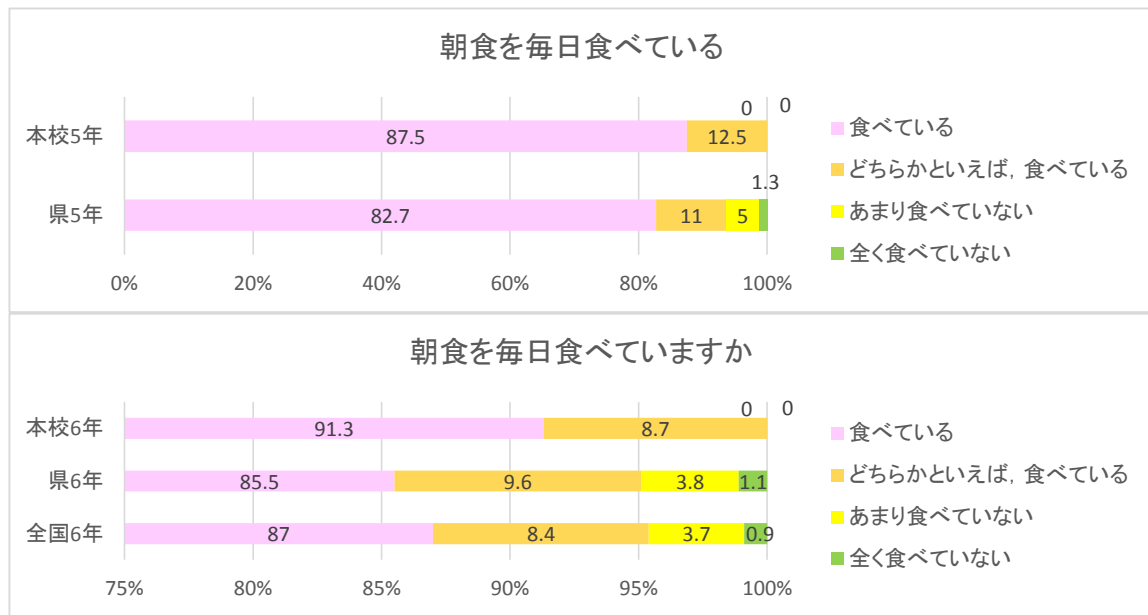




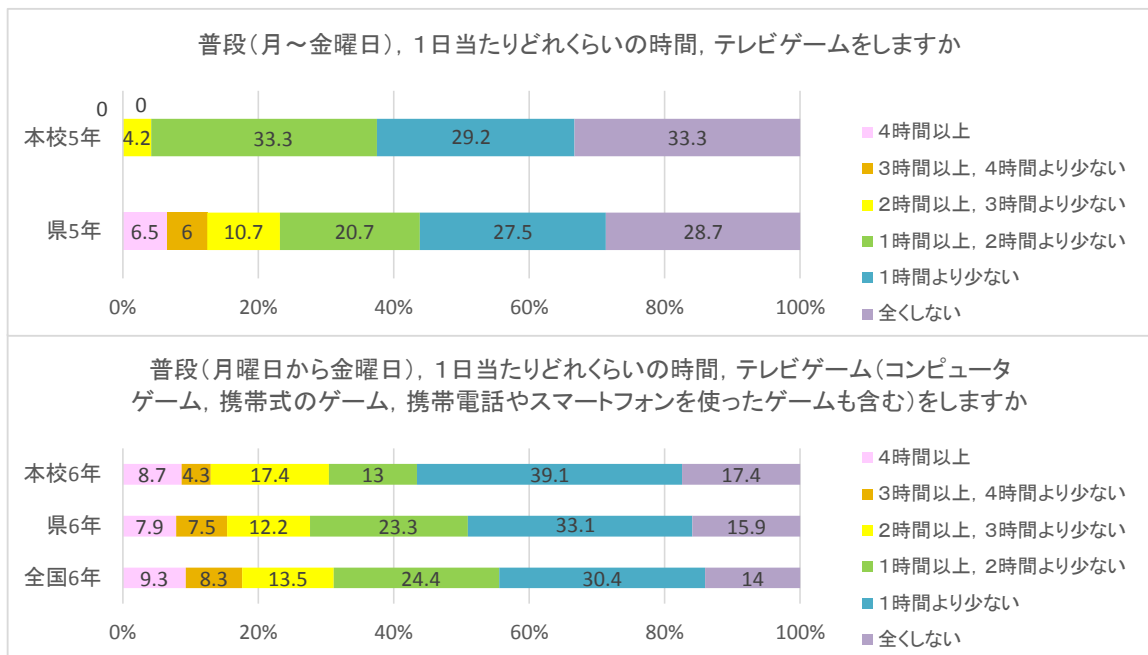
「自分の考えを発表する機会」「話し合う活動」「自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組む」のアンケートでは、本校は、5・6年生ともに、県平均を上回る良好な結果が見られます。これは、授業において、理由と根拠を明確にしながら視点に沿って、考えを広げ深めさせる指導を工夫し、対話力を高め、協働的に問題を解決する力の育成に重点を置いた授業改善を行ってきた結果だと考えます。これからも主体的に児童が学習に取り組めるよう努力していきます。

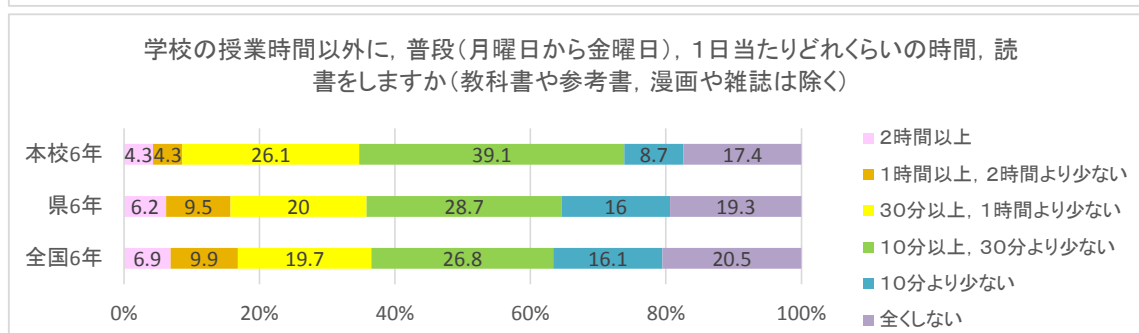
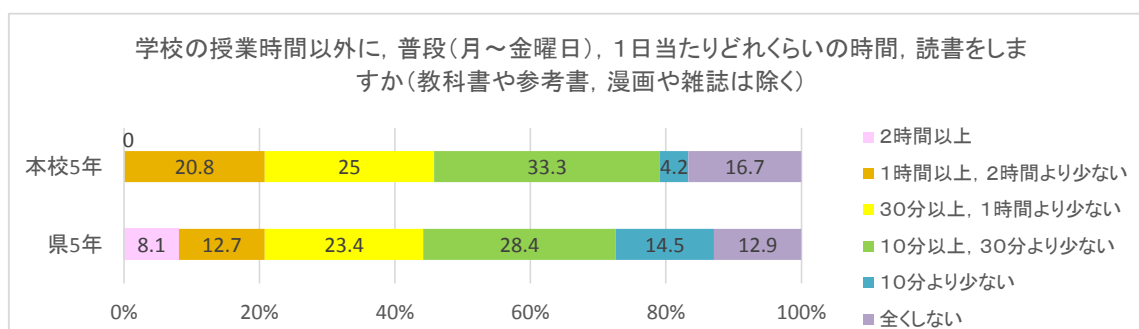
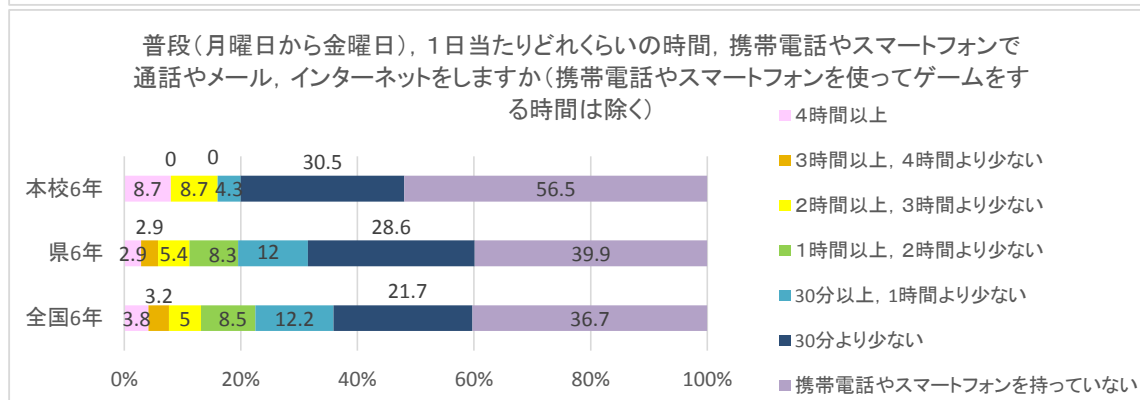
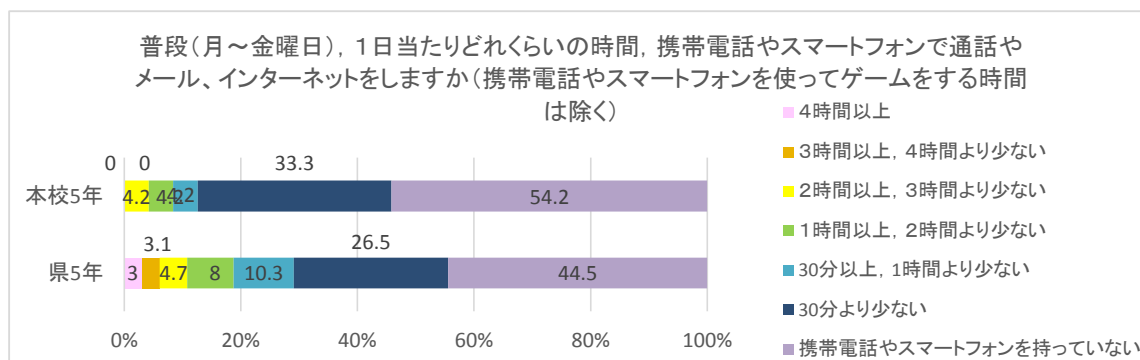
また、ピースフルスクールやなぞペー授業、青空教室等の異年齢集団による体験活動を計画的に実施し、自他の考えを伝え合い、認め合えるコミュニケーション力を育てるとともに、自分の考えを自由に発言できる望ましい学級・学校集団づくりに務めていきます。

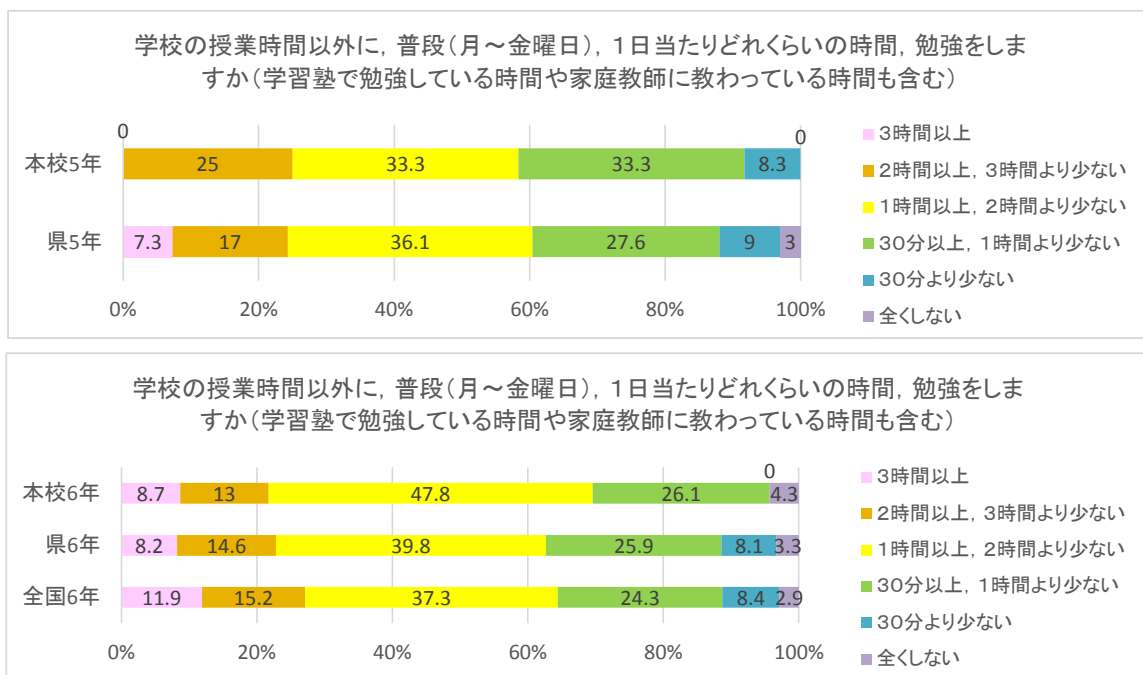
家庭における学習と生活について



本校は、ほぼ100%の児童が、毎日朝食を食べて登校できています。県や全国と比較してもよい結果で、昨年度以上に摂取率が伸びています。家庭でのご支援・ご協力の賜だと感謝致します。朝食は、一日の学校生活を活動的にいきいきと過ごすためにも大切なものです。今後とも、ご協力よろしくお願い致します。







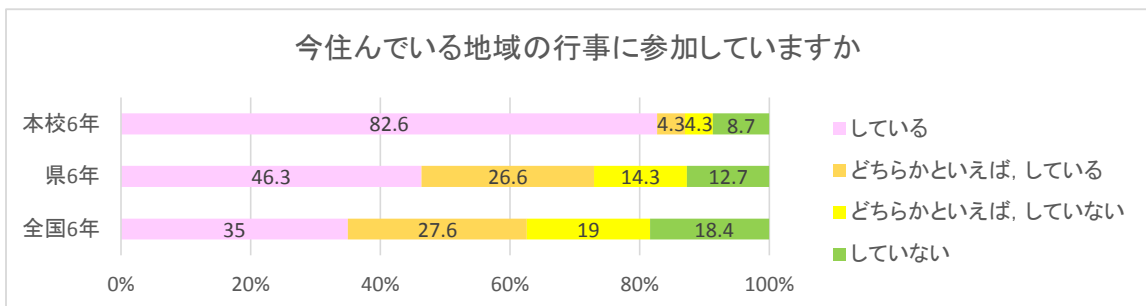
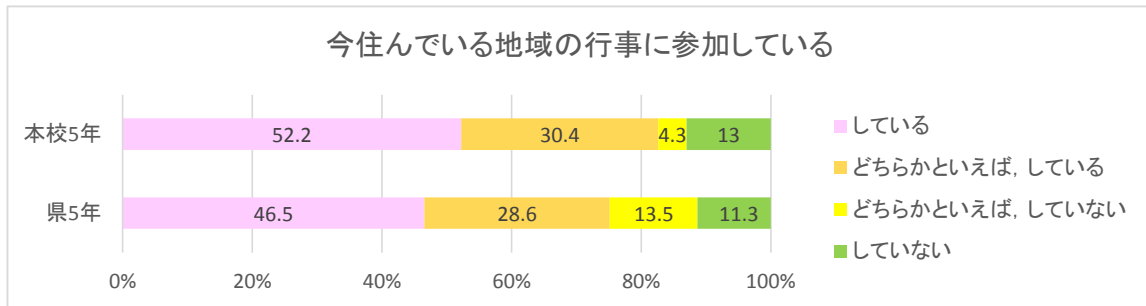
本校は、普段の生活の中で、ゲームをする時間が1時間より少ない児童の割合は、県・全国平均より多く、良好な結果です。また、携帯電話やスマートフォンを持っていない割合も県・全国平均を大きく上回るなど、家庭でのご支援・ご協力の賜だと感謝いたします。その一方で、テレビの視聴時間が長い傾向にあり、今後も生活習慣の確率に向け、家庭と連携を図りながら、家読・ノーテレビノーゲームデーを推進していきます。

しかし、読書の習慣については、5年生は良好な結果が得られていますが、6年生は、平日の読書量及び読書の機会が県・全国平均を下回っています。読書への関心を高めるために、図書室の環境整備向上や全校的な朝の読書旬間を設けるなど良書に親しませるようにしていきたいと考えています。

家庭学習については、スマイル学習など予習型の家庭学習やその日の復習問題に取り組ませるなど、学校の授業と家庭の学習とが連動した学習スタイルを確立させ、発達段階に応じた学習時間を確保させるようにしたいと思います。内容や量については、ICT機器やドリル、プリント等を活用し、個別に補充指導をとりながら、基礎的・基本的な知識の定着も図っていききたいと考えています。調査問題において習得できていなかった内容や児童が苦手としている内容についても、日頃から繰り返し復習させていききたいと考えています。

また、家庭での基本的な学習習慣の確立に向けて、自主的な学習の内容・質・量の改善を図り、家庭学習の時間の確保につなげていきます。さらに家庭学習強化週間を年3回設定し、自主学習の良い例と家庭学習に意欲的に取り組んだ児童を紹介することで自主学習を推進していきます。

地域とのかかわりについて



本校は、「地域の行事に参加している児童」が80%以上で、県平均の2倍の結果です。また、日頃から、地域のボランティア活動にも参加しています。

本校で取り組んでいる「花まるタイム」に、地域の方が多数、協力・支援にお越し頂いており、地域の方とのつながりがより深くなっている成果だと考えます。今後も、地域に開かれた学校を目指し、地域の一員という自覚をもち、「ふるさと大好き」な児童を育てていきたいと思ひます。

武内小学校は、地域・保護者の皆様にたくさんのご協力・ご理解・応援をいただいているお陰で、充実した教育活動を進めることができます。日頃のご支援・ご協力に感謝申し上げます。
なお、本調査での学校へのご意見等ございましたら、遠慮なくお申し出ください。
今後とも、どうぞよろしくお願い致します。